

2025年12月8日
東日本旅客鉄道株式会社

第14回世界鉄道研究会議(WCRR 2025)で優秀論文賞を受賞しました

- 「第14回世界鉄道研究会議(WCRR 2025)」^{※1}がアメリカ・コロラドスプリングスで開催され、弊社から発表した論文「Development of Derailment Detection Function for High-Speed Trains by Monitoring Acceleration of Bogie Frame(高速鉄道車両のための台車枠加速度による脱線検知機能の開発)」が「Safety and Security部門」で「優秀論文賞」を受賞いたしました。
- WCRR(World Congress on Railway Research)は、1994年11月のフランス・パリでの開催以降、鉄道に関する研究の価値向上、技術情報の共有、国際協力の推進を目的として数年ごとに開催されており、鉄道に関する会議としては世界最大級の国際会議です。
- 今回は世界25か国以上から384名が参加し(うち日本からは62名)、244件の研究発表が行われました。この中から優秀論文賞が7件選出され、このうちの1件が本件名となりました。

○受賞内容について

- ・受賞名: Best Paper Award for Category of Safety and Security
(「Safety and Security」部門 優秀論文賞)
- ・受賞日: 2025年11月21日^{※2}
- ・件名: Development of Derailment Detection Function for High-Speed Trains by Monitoring Acceleration of Bogie Frame
(高速鉄道車両のための台車枠加速度による脱線検知機能の開発)
- ・受賞者: 東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター
リスク評価・安全技術ユニット 篠原嵩征 研究員
(共著者: 松橋克幸、畠弘敏、石田陽士、内田好徳、三須弥生)

※1 開催概要の詳細は以下のURLをご覧ください。

<https://railresearchweek.com/>

※2 現地時間では11月20日です。



#MxVRAIL #IHA2025 #WCRR2025 #RailResearchWeek @davidtookitco

授賞式(左よりWCRR技術委員長、篠原研究員、三須上席研究員、WCRR委員)